

## ◆特色ある取組

本学**芸術・スポーツ文化学科（岩見沢キャンパス）**では、音楽・美術・スポーツを“素材”として、大学が住民の生きがいや幸せを見つける多様な体験型プログラムや、まちづくり・健康づくりのための機会を提供しています。

その中に「あそびプロジェクト」もあります。これは音楽・美術・スポーツの原点とも言える“遊び”の要素を取り入れた体験型プログラムです。プロジェクト名には**ASOBI**（=A: アート、S: スポーツ、O: 音楽、B: ビジネス、I: 岩見沢）の意味も込めました。

今回紹介する「**芸術・スポーツキャラバン**」も、そういったプロジェクトの一環です。学生と教員が北海道内の市町村へ赴き、地域の小・中学生に直接芸術やスポーツに触れる機会を提供して、子どもたちの豊かな感受性や創造性を育むとともに、表現する面白さやその多様性、そして体を動かすことの楽しさや爽快感を味わってもらい、**地域の芸術・スポーツ文化を醸成**することをねらいとしています。

このプロジェクトでは、学生が企画から実施まで主体的に関わります。その活動を通して、学生は芸術やスポーツがどのように地域の発展に寄与できるかを考え、また芸術とスポーツが持つ“文化力”を肌で感じるようになります。これは、学生が将来**地域再生の核となる人材**に成長するための、重要な実践の機会となっています。

## ◆取材対応者

本学教育学部岩見沢校  
教授 山本 理人  
(スポーツ教育学)



本校の有する人的資源、知的資源及び教育活動の成果を活かし、地域社会との連携を推進する組織リージョナルセンターの副センター長として、当該事業の企画・旗振り役をしています。

この事業により、世代、文化領域の枠組みを超え、多くの地域住民が日常的に芸術文化、スポーツ文化に触れる事ができる生活の実現を目指しています。

## ◆学生の声

本学教育学部岩見沢校  
音楽文化専攻 三島 明日香



普段は岩見沢や札幌を中心に演奏会を行う機会をいただいておりますが、このようになかなか行くことのない土地での演奏機会は滅多に得られるものではありません。過疎化が大きな問題となっている北海道において、音楽文化の振興という観点から地域貢献を行うことができることに、大きな喜びとやりがいを感じております。

## 芸術・スポーツキャラバン

## \* ミュージック・キャラバン

～馴染みのある曲目を中心とした吹奏楽及びオーケストラ演奏や実際の楽器に触れることができる体験コーナー

## \* アート・キャラバン

～大学生の絵画、立体造形、動画などの展示を中心とした、美や表現を感じてもらう活動

## \* スポーツ・キャラバン

～ミニハードルやポールが設置されたN字型のコースを、跳んだりジグザグに走ったりしながらゲーム感覚で敏捷性を測定



↑ 楽器体験

↓ Nチャレンジ



地域への文化振興  
及び  
地域再生の核となる  
人材養成

## ◆参考URL

北海道教育大学岩見沢校HP

<https://www.hokkyodai.ac.jp/iwa/intro/chiiki.html>